

Beanstalk Snow

リフレケア通信 126号

2019年11月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

月和名の由来：11月「霜月(しもつき)」…霜の降る寒い季節から「霜降り月」が略されて「霜月」になった説が有力だそうです。他に、10月の「神無月」を「上な月」と考え、11月を「下な月」、略して「下月(しもつき)」になったという説もあるそうです。

シリーズ第19弾～4
口腔ケア最前線

④災害発生時の生活環境について

医療法人明誠会 サンデンタルクリニック 院長(宮崎県宮崎市)

ごとう だい
後藤大先生

近年では、地震のみならず台風や局地的豪雨による水害や土砂災害、竜巻きによる被害、停電など様々な自然災害が日本全国で多発し、自分や身の周りの人が被災し避難生活を余儀無くされるという声を聞くことも珍しくなくなってきました。また、避難所だけが避難生活の場ではなく、在宅避難者や空調が整いプライバシーが確保しやすい車中泊、被災したけれどもなんとか少ないスタッフで運営できている高齢者施設や障害者施設など、災害発生から72時間を過ぎた後のすべての避難生活の場にも目を向けなくてはならない事がわかってきました。

災害の起こっていない普段より「連携」という言葉がよく聞かれるようになりましたが、実際には、行政や組織内の部署ごとの縦割り構造による連絡や連携の遅れ、地域の医療や介護の現場においても専門職種の連携不足などの横のつながりに関する問題があり、目を向けなければならない場所は理解できていても、災害時において平時と同等の生活環境への対策、例えば排泄や睡眠、手洗いや食事の場、恥ずかしがらず歯磨きや、入れ歯を外しキレイにできる場、または子供の遊ぶ場所等々まだまだ環境整備の必要があると感じます。

自助や公助、共助の限界もある中被災した時のことをどこまで想像し、自分事として普段の生活に近い環境にしていけるか、専門職種として被災した際の生活環境の改善についてお互いの立場を理解した上で、どこまでお手伝いができるかを少しずつ知恵を出し、様々な視点から問題点を見つめ、地域全体で改めて災害時の生活環境について考え直していく必要があると思います。

過去の災害から教訓を学び、それぞれの生活場所にあったそれぞれの地域ごとの備えが、普段からの地域を見る力や地域を守る力に繋がり、災害弱者になるであろう地域の要支援者を含めたみなさんが安心して暮らせるように、口腔機能を守ることとあわせて避難訓練や講演などの機会などいただけましたら今後もお伝えしていこうと考えています。

最後になりますが今現在も日本国内にて避難生活を余儀なくされている方々、困難な状況に多くの方が苦しんでおられると思います。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に1日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

4回に渡り災害と口腔ケアについてお話いただきました。後藤先生、ありがとうございました！



台風15号の被害が大きかった千葉県館山市を訪れた時の写真

口腔ケアセミナーin福岡セミナーレポート

九州支店 販売企画課 塩月百合

7月7日(日)福岡パピヨン24ガスホールにて、リフレケア 口腔ケアセミナーin福岡を開催し、約300名の方がご参加くださいました。

第1部では、九州大学大学院 歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 口腔医療連携学分野 講師 山添淳一先生に『災害時に備えた、平時からの高齢者の口腔機能管理 ～多職種で災害弱者を災害関連死から守る～』をテーマにご講演頂きました。

第2部では、九州歯科大学 口腔保健学科 地域・多職種連携教育ユニット 教授 藤井航先生に『要介護高齢者への口腔健康管理』をテーマにご講演頂きました。

聴講された方々のアンケートには、『災害時の口腔ケアの重要性を改めて痛感しました』『大変わかりやすかった。清掃だけではなく、機能を向上する口腔ケアをしていきたいと思えます』『食べたいという気持ち、口腔内の清掃だけでなく口腔の環境(義歯など)も大切であることが再認識できました』『嚥下状態を映像で見せてもらったのが興味深かった』等、たくさんのご感想を頂きました。私たちスタッフもみなさまと一緒に学び、今後も更にお役に立てるよう頑張ります。



講演の様子

口腔ケアセミナーin名古屋セミナーレポート

中部支店 菊池誠

7月28日(日)に名古屋国際会議場にて「リフレケア口腔ケアセミナーin名古屋」を開催し、県内外の病院・歯科医院・施設等に勤務されている医療関係者様185名にご参加いただきました。

第一部の講演は『口から食べるを支える口腔ケア～摂食・嚥下障害の視点を交えて～』と題しまして、医療法人人生寿会 五条川リハビリテーション病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師である濱崎巨愛先生にお話をいただきました。

第二部は『医療療養病棟・介護医療院における口腔ケア～口腔ケアの基礎知識と口腔ケアジェルの応用～』と題しまして、医療法人永寿会 陵北病院 歯科診療部 部長で副院長でもある阪口英夫先生にご講演いただきました。

ご参加の皆様からは、「実践的内容で動画も多くわかりやすかった」「口腔ケア用品の正しい使い方や必要性がよくわかった」「明日からの口腔ケアに役立ちそう」など、他にもたくさんのお声をいただきました。



講演の様子



左から阪口先生、濱崎先生

ぷち★まめ知識

涼しくなってきた暖かい飲み物を飲む機会が増えてきました。皆様はカフェオレやカフェラテを飲まれますか？実は似ているようで違う飲み物なのです。

カフェオレの「レ」はフランス語で「ミルク」、カフェラテの「ラテ(ラッテ)」はイタリア語で「ミルク」。どちらもミルク入りコーヒーを意味します。ミルク入りコーヒーのフランス語とイタリア語読み？と思いがちですが、カフェオレはドリップコーヒーを使うのに対し、カフェラテはエスプレッソを使います。エスプレッソはエスプレッソマシンで抽出する非常に濃いコーヒーで、ドリップとは味が異なります。では、同じような飲み物、カプチーノはどう違うのでしょうか？

両方ともエスプレッソにミルクを入れるのですが、カフェラテは温めたミルク「スチームミルク」を使い、カプチーノはスチームミルク+泡立てたフォームミルクを入れます。このフォームミルクに模様を書くのが「ラテアート」です。

ぜひ、飲み比べてお気に入りの味を見つけて下さいね♪

